



関川村長賞

『税金があるからこそ』

関川村立関川中学校 3年

齊藤 彩依 さん

私は小学生中学年から母子家庭で育ちました。中学生になっても税のことは全然頭になく中学三年生になり、夏休みの課題で税の作文を書くことになり、税金のことを勉強する機会が増えてから自分でも税について興味が出てきたので調べてみました。インターネットで調べてみても難しいものばかりで分からなかったので母に聞いてみることにしました。

母に聞いてみて初めて家が母子家庭手当を受けていることを知りました。そのことを知ってから私達の生活が苦しくても安心して暮らせて、学校に行って友達と楽しく過ごし勉強ができるのも、病気や怪我をしたときに医者から適切な措置を受けられるのも全て社会保障が充実しているからこそだと知りました。

「税金なんか無くなればいい」と言う人も中にはたくさんいます。ですが税金が無ければ、もし何かあったときに救急や消防に助けてもらうことにお金がかかることになるし、災害があったときの復興や、道路や公園、空港や港の整備にもお金がかかり、勉強を通したくさんのことを学べる学校に通うためにもお金がかかってしまうので通うことが出来なくなります。税金がないといろいろなことが出来なくなってしまうです。

私達、中学生にとっては税金はあまり馴染み深いものではありません。服や

お菓子を買うときに消費税を払うぐらいです。その内私達も大人になり社会人として働くようになったら国に税金を納めることになります。今の私達にできることは、学校や公共施設の物を大切に使い税の無駄使いを無くすということだと思います。私もよく母や祖父母から「お金と物は大事に使いなさい。」と言われます。

私の家と同じように国から生活を助けてもらっている人は大勢いると思います。なのでその事を私は知ってほしいと思いました。今すごく幸せな生活を送っている人も、いつか国の援助がないと生活できなくなる日が来るかもしれません。税金は私達の幸せな生活を守るための、支え合いだとは思います。

最近では少子高齢化などで国の財源がとても厳しくなっていると聞きました。国民の税負担について、不満がある人も多いですが私達の暮らしには生活を安定させるために税金が必要です。今の当たり前の中生活の中にたくさん税金が使われています。また、一人一人が納税という義務を果たすことで国の安定は保

たれているのだと思います。

私達は、この国に守られて育ててもらっています。税金のしくみや正しい使い方をしっかりと学び、理解して、社会に貢献できる大人になりたいと思います。

